

豊橋技術科学大学 社会人向け実践教育プログラム  
文部科学省 職業実践力育成プログラム (BP) 認定  
豊橋市次世代「農力」UPアカデミー事業プログラム

# 東海地域の 6次産業化推進人材育成

第8期生募集 募集期間 2019. **6.14** 金 ▶ 2019. **8. 2** 金

- ・ 6次産業化ビジネスの“あるべき姿”を設計する
- ・ サプライチェーンを統合して、最適システムを設計する
- ・ ニーズ起点の戦略商品を設計する



日 程

2019年**10**月～2020年**1**月

9:30～16:50 座学9日間、視察3日間及びeラーニング

会 場

大学・各視察先 他

募集人員

15名

受講料

80,000円

割引制度あり〔割引後受講料〕

①豊橋市、田原市在住・在勤者 30,000円

②協賛企業推薦者 30,000円

③農林水産業従事者等 50,000円 ※詳細は募集要項参照

対象者

農林水産業者、農林水産業の6次産業化に関心を持つ方

応募資格

インターネット、Eメールが使える方

**食PRO.**  
LEVEL3 [2015]

国家戦略プロフェッショナル検定「食の6次産業化プロデューサー」キャリア段位申請可能



本プログラムは、文部科学省の「職業実践力養成プログラム」(BP)として認定されています。  
BPとは、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた、実践的・専門的なプログラムを「職業実践力養成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定する制度です。

大学ホームページ[<http://www.recab.tut.ac.jp/contents/6sangyo/>]より志願書をダウンロードし、Eメールまたは郵送にてお送りください。

申込先 ▶ 国立大学法人 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 TEL 0532-44-1016 E-Mail: 6jisangyo@recab.tut.ac.jp

主催：豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

共催：豊橋技術科学大学 社会連携推進センター、豊橋市、(株)サイエンス・クリエイト

協賛：田原市、イノチオホールディングス(株)、(株)サーラコーポレーション、(株)大仙、トヨタネ(株)、豊橋信用金庫、本多電子(株)

## 東海地域の6次産業化推進人材育成

### 【教室講義】

カリキュラム名	日程	講師	所属・役職
オリエンテーション	2019年 10月5日(土)	山内 高弘	豊橋技術科学大学 特任准教授
基本理念(ビジョン)の共有とビジネスプランの作成方法		長谷川 潤一	(一社)食農共創プロデューサーズ代表理事
「食の6次産業化プロデューサー」について		林 加代子	(株)ソーシャル・アクティ代表取締役
ファシリテーション	2019年 10月19日(土)	藤井 吉隆	愛知大学 地域政策学部教授
6次産業化の必要性と展開パターン			
連携型6次産業化事例			
農業経営と企業経営			
プレゼンテーション手法	2019年 11月2日(土)	松尾 晃治	東海農政局経営事業支援部地域連携課
行政機関における6次産業化の支援施策と支援機関		日野 眞明	MORE 経営コンサルティング(株) 代表取締役
経営戦略			
マーケティングの手法			
経営理念/組織・経営者論	2019年 11月3日(日)	広木 拓	日本貿易振興機構(JETRO)名古屋
農産物輸出概論		平松 賢介	(株)平松食品 会長
農産物輸出実践論	2019年 11月9日(土)	山村 友宏	(有)F.T.Y. 取締役
ビジネスプランの作成 I			
食品加工論 I	2019年 11月16日(土)	中西 勘二	(株)丸八製菓 次長
食品加工論 II			
食品開発における栄養と機能			
食品加工における安全・衛生管理/関連法規			
農産物の品質管理 I (HACCP概要)			
農産物の品質管理 II (GAP概要)	2019年 11月30日(土)	功刀 由紀子	愛知大学 地域政策学部教授
農産物の品質管理 II (GAP概要)		山口 治子	愛知大学 地域政策学部准教授
商品・サービスの価値形成の考え方・手法	2019年 12月7日(土)	山本 英治	イノチオホールディングス(株)
農業と融資		山内 高弘	豊橋技術科学大学 特任准教授
農業制度資金の活用と経営支援の仕組み		宮川 直樹	豊橋信用金庫事業支援部部長
ビジネスプランの作成 II	2019年 12月21日(土)	担当者	日本政策金融公庫名古屋支店農林水産事業
ビジネスプランの発表		山村 友宏	(有)F.T.Y. 取締役
	2020年 1月11日(土)	山村 友宏 他	(有)F.T.Y. 取締役 他

### 【e-ラーニング】(必須科目)

カリキュラム名	講師	所属・役職
6次産業実践論	加藤 寛昭	食と農研究所 代表
商品・サービス・価値形成の考え方・手法1・2	天野 良英	(有)NEWビジネス研究所 所長
事業開始前のマーケティング	勝瀬 典雄	兵庫県立大学大学院経営研究科 客員教授
商品化後のマーケティングと実例	高野 克三	アグリビジネスコンサルタント6次産業化プランナー
財務会計 I、II	三好 巧	有限責任監査法人トーマツ 公認会計士

### 【e-ラーニング】(参考科目)

カリキュラム名	
6次産業化概論	農林水産業の政策動向
ビジネスプラン作成	地域内外でのチームの作り方(概論)
地理的表示保護制度(知的財産で農業成長へ)	地域活性化に向けた再生可能エネルギー事業構想の描き方
6次産業ビジネスの展開医療介護参入事例	「日本の食文化と健康」に学ぶ、地域ビジネス創出のスキル
【事例】企業・地域を経営するとは1(伊豆沼農産事例)	【事例】企業・地域を経営するとは2(ファーマーズフォレスト事例)
【事例】地域内外でのチームの作り方2和郷園事例	【事例】地域の新産業はどうすれば生み出されるか リバネス事例
食品の機能性-科学的に考える新たな商品価値-	農業大国フランスの農産物ブランド戦略-原産地統制呼称(AOC)の歴史と効果
財務・会計・資金調達(1)資金調達と事業主体	財務・会計・資金調達(2)収支計画の立案とPDCA
損得学1・2	総合化事業計画作成における申請書記載のコツ

### 【その他】

1. 開講式は、2019年10月5日(土)に、修了式は2020年1月下旬を予定しています。
  2. 先進事例調査研修は、2019年10月26日(土)、11月23日(土)、12月14日(土)の日程で、3日間を予定しています。
- ※教室講義は、講師または会場の都合により一部日程が変更になる場合があります。

### ■ IT農業ネットワークおよび「東海食 pro. の会」の活動

注) IT農業ネットワークとは、先端農業・バイオリサーチセンターが行っている人材育成事業の修了生で組織するネットワークで、講座修了後は、このIT農業ネットワークの会員となります。

- (1)IT農業ネットワークシンポジウムとアグリフェアの開催  
IT農業ネットワークシンポジウムは、修了生の活動報告や情報交流の場として現在まで9回開催されている。また、このシンポジウムに併せ、修了生及び受講生が、自身の農産物や農業関連製品を展示、発表することを目的としてアグリフェアを同時開催している。
- (2)IT農業サポートセンターからのサポート  
先端農業・バイオリサーチセンター内にあるIT農業サポートセンターでは、IT農業ネットワーク会員に対して、「ITアグリ通信(毎週配信)」と、「IT農業だより(隔月発行)」をメール送信し、農業関係の最新情報や会員の活躍状況などを伝えている。
- (3)「東海食 pro. の会」の活動  
6次産業化推進人材育成プログラム修了生同士の交流を図る目的で、2015年度に「東海食 pro. の会」が発足し活動している。